

### 大雨の傷跡は・・・ = 高地谷 =

台風が通り過ぎて雨も上がり、さあ、工事再開！という時に出張所の一本の電話が鳴る。高地(たかち)谷で崩落があったというのだ。現場で私が見たものは・・・。幅10m、高さ20mはあろうかという、斜面崩落であった(写真①,②)。

場所は、高地谷に続く唯一のアクセス道路。かろうじて林道の通行はできるものの、大型車の通行は不可能だ。

現在、林道管理者との協議を行いつつ、安全に通行できる方法を模索し、対策を検討している。



### 大地の恵みに感謝しつつ・・・ = 日洞谷 =

日洞(ひぼら)谷では、管理用道路の掘削もおおむね完了し、堰堤工事個所までたどり着いた。土砂災害の多い越美山系砂防事務所管内では、自然にメスを入れ(写真A、B)、砂防堰堤を築造させていただいている。樹木の間を縫って、水道管の移設工事進む(写真C)。積み重ねた年輪の数(写真D)だけ大自然に頭を下げ、自然と共生するための工事が行われている。



### 安全に配慮し、工事が進む = エノマ谷 =

エノマ谷工事は、砂防堰堤の副堰堤、管理道路などを築造する工事。現在は、副堰堤上流右岸側の埋め戻し作業を実施中(写真③)。

エノマ谷の入口を入ったところでは、管理道路の擁壁がお出迎え(写真④)。取り付け護岸の施工も順調に進む(写真⑤)。

写真⑥は補強土壁工事の転落防止柵。日々積みあがる擁壁工事では、すぐに移動しなければならぬため、結構手間がかかる。簡易に設置でき、堅固に固定できる方法を幾度か試行錯誤して設置。手間を惜しまない現場作業者の安全に対する強い思いが見える。



### ～ 宇津志谷工事現場にて ～

本年度から始まった揖斐川町との職員交流。工務課に席を置く成瀬(なるせ)技官は、宇津志谷の完了検査にて測量デビュー(写真E)。思えば、成瀬技官が当事務所ですべて初めて現場確認したのも、この宇津志(うつし)谷。この現場とは、何か縁があるのかもしれない。

写真Fは本年度施工個所最上部の鉄筋の様子。次年度以降の工事に支障がないよう被覆を施していただいていた。今後の施工業者への配慮には頭が下がる。



### 行楽シーズン！

越美山系は、根尾谷断層などの活断層を有し、脆弱な地質構造となっている。その面積約867km2の中には絶景ポイントなどの地域資源(写真G)が豊富。鮮やかな紅葉の時期ももうすぐだ。

日が落ちるのが早くなってきたが、行楽には良い季節。皆様も越美山系の地域資源探しに出かけてみてはいかがですか？

